

マラウイ月報(2020年7月)

主な出来事

【内政】

- 大統領就任式典
- 新内閣の組閣
- DPP・前政権関係者の逮捕

【経済】

- 葉たばこの売り上げの減少

【開発協力】

- 我が国による3億円規模の医療機材調達支援
- ドイツによる改革アジェンダ及び新型コロナウイルス対策支援
- 習近平中国国家主席夫人による新型コロナウイルス対策物資の寄付
- AfDB による4507万米ドル規模の新型コロナウイルス対策及び経済支援

【内政】

・大統領就任式典

(1) 式典前

4日、チャクウェラ新大統領は、6日実施予定の就任式典は規模を縮小しつつ観客を交えて実施すると発表した一方、5日の演説において、新型コロナウイルス(以下「コロナ」)への懸念で公開行事としての式典を中止し、代わりに招待客のみの小規模式典を実施すると発表した。

(2) 式典当日

6月28日に実施された宣誓式に続き、7月6日に、チャクウェラ大統領とチリマ副大統領の就任式典が実施された。大統領は、就任演説において、過去の他政党政権下の貧困、分裂、人権侵害、汚職、横領を批判し、新しいマラウイを国民全員で創っていかねばならないと述べた。新政権の政策としては、100万人の雇用創出や安価な化学肥料の供給などを挙げ、国民の模範を示すために、大統領として毎年の財産の公開や大統領の権力縮小などを掲げた。

・新内閣の組閣

8日、チャクウェラ大統領は大統領・副大統領に加え、21名の大臣及び8名の副大臣で構成される新内閣を発表した。新大臣は以下のとおり。(8日政府公式フェイスブック)

- (1) 農業大臣:ロビン・ロウ
- (2) 財務大臣:フェリックス・ムルス
- (3) 運輸・公事大臣:モハメド・シディク・ミア
- (4) 観光・文化・野生動物大臣:マイケル・ビズウィック・ウシ
- (5) 外務大臣:アイゼンハワー・ンドウワ・ムカカ
- (6) コミュニティ開発・社会福祉大臣:パトリシア・アニー・カリアチ

- (7) 国土安全保障大臣:リチャード・チムウエンド・バンダ
- (8) 地方自治大臣:リングソン・カンベワ・ウェードン・ベレカニヤマ
- (9) 法務大臣:タイタス・ムバロ
- (10) 教育大臣:アグネス・ニヤロンジェ
- (11) 保健大臣:クンビゼ・カンドド・チポンダ
- (12) 労働大臣:ケニー・エドワード・カンドド
- (13) エネルギー大臣:ニュートン・カンバラ
- (14) 国土大臣:ケジー・カサンバラ・ムスクワ
- (15) 貿易大臣:ソステン・アルフレッド・グウエングウエ
- (16) 公民教育・国民統合大臣:ティモシー・パゴナチ・ムタンボ
- (17) 森林・天然資源大臣:ナンシー・テンボ
- (18) 青年・スポーツ大臣:ウレム・ムスンガマ
- (19) 産業大臣:ロイ・アカジュウエ・カチャレーバンダ
- (20) 鉱業大臣:ラシード・アブドゥル・ガファール
- (21) 情報大臣:ゴスペル・カザコ

尚, 17日, 政府は, コミュニティ開発・社会福祉省を男女平等・コミュニティ開発・社会福祉省に改名した。(17日政府公式フェイスブック)

・**その他人事異動**(7日政府公式フェイスブック)

- (1) ニレンダ最高裁長官の留任
- (2) 閣僚以外の公職人事
- ア 準備銀行総裁:ウィルソン・T・バンダ
- イ 歳入庁長官:ジョン・ビズウィック
- ウ 歳入庁副長官(歳入):ヘンリー・ングツワ
- エ 歳入庁副長官(官房):アグネス・カツオンガ・ピリ
- オ 国家情報局長:ドカニ・ングウイラ
- カ 警察総監:ジョージ・カインジャ

・**DPP・前政権関係者の逮捕**(3日, 16日タイムズ・オンライン, 16日ネーション・オンライン, 24日タイムズ・オンライン記事, 23日反汚職局(ACB)報道発表, 28日ネーション・オンライン記事, 30日MRA報道発表, 31日ネーション・オンライン記事,)

- (1) オスマン・バングウエ・ムサンディジ郡地方議員の逮捕: 昨年5月、シャワ国会議員(無所属)が当選祝いを行っている時に、彼の住宅において物品損傷及び強盗を行った疑惑で逮捕された。
- (2) カンバラメDPP 中部代表の逮捕: 今年リロングウエ警察署においてムカカ MCP 事務局長に暴行を加えた疑惑で2日に逮捕された。
- (3) 前大統領のボディガードの逮捕: 14日、チサレ氏が、2018年から2019年、ムタリカ大統領

領(当時)の免税権の下、ザンビア及びジンバブエから50億クワチャ(672万米ドル)相当のセメント1200万袋を不正に輸入した疑いで逮捕された。カリラニ前大統領報道官は、右セメントはムタリカ前大統領の個人的な使用のために輸入したと主張していた。

(4) 上記チサレ氏の出頭の際のメディア関係者暴行事件: DPP 及び UDF 支持者が、裁判所の外でチサレ氏の無条件釈放を求めた。また、警察が警備する中、チサレ氏を撮影しようとしたメディア関係者を追いかけて、メディアの多くは避難したものの、ゾディアックテレビのカメラマン1名が暴行を受け、また同人のカメラが損傷した。

(5) セメント免税購入汚職事件におけるムタリカ前大統領の主張: チサレ前大統領警護官が、大統領免税特権の下、ザンビア及びジンバブエから50億クワチャ(672万米ドル)相当のセメントを輸入した疑惑で逮捕されたと報告したが、この汚職事件に関し、サランジラ前大統領個人秘書によると、ムタリカ前大統領は、右セメントを購入又は購入の指示をしていない、右セメント量を必要とする建設事業を行っていないし、右セメントを必要とするビジネスを運営していないと主張した。

(6) 電力供給公社(ESCOM)汚職事件関係者の逮捕: ACBは、ESCOMが40億クワチャ規模の公共調達で汚職を行ったとの2016年9月21日付告発に基づき、今日22日にESCOMのノコノ前公共調達局長及びカンダポ首席公共調達官を、23日にカンドウル前CEO及びマサンガ前理事長を逮捕した。尚、マサンガ前理事長は、再選挙直前に任命された新選挙委員会(MEC)でDPP推薦の下留任した委員の一人。彼女の逮捕の理由は、2015/2016年予算年度において、14億クワチャの公共調達を実施した疑い及び2017年のACBによる捜査の際、間違った情報を伝達した疑い。

(7) ンダンガUDF報道官の逮捕: ンダンガUDF報道官は、今年5月のUTM事務所火焰瓶攻撃事件(死者3名)に関与した疑いで逮捕された。パダンボUFF事務局長は、ンダンガ報道官の逮捕は衝撃であり、UDFは他の関係者と同様にUTM事務所攻撃事件を非難すると述べた。

(8) ムキト元大統領官邸事務局長の家宅捜査: 30日、MRAは、車両の脱税の疑いで、ムキト元事務局長(注: ビング・ワ・ムタリカ政権では警察総監も歴任)を家宅捜査し、7車両が通関許可未取得と判断した。尚、警察は、家宅捜査の2日前にムキト氏セメント免税購入汚職事件で別途逮捕していた。

(9) エネルギー規制庁(MERA)幹部・職員の逮捕: マガラシ・エネルギー規制庁(MERA)CEO、ムベウエ同庁公共調達局職員、マウリディ同庁報道官の合計3名が逮捕された。逮捕の理由について警察は捜査中であることを理由に明言していないものの、報道によると、警察が捜査している7億クワチャ規模の燃料検査車両の公共調達案件及び、反汚職局(ACB)が捜査しているブランド商品の公共調達案件において汚職の疑いがかかっているとのこと。

・大統領の反汚職演説

25日、チャクウェラ大統領は、ラジオ演説において、MCP一党独裁政権以降25年間の政権、特にDPP政権における汚職を批判した。2019年6月30日までの2018/2019予算年度における監査報告書を引用しつつ、DPP政権による汚職は1兆クワチャに上ると主張し、

汚職の取り締まりの強化を発表した。(25日政府公式フェイスブック)

・コロナに係る措置

(1) 新措置の発表(10日政府公式フェイスブック)

10日、大統領直属コロナタスクフォース(以下「タスクフォース」)が、2020年公共保健法に基づき、流動的市場の停止・規制、飲酒やエンターテインメントの場の停止、結婚式等の公的・社会的行事の停止等のより厳しい措置を発表。

(2) 上記措置の取りやめ(13日, 14日政府公式フェイスブック)

しかし、13日、司法長官が、右措置の根拠法が今年差し止められたロックダウンと同様のものであり、新措置の執行も高等裁判所により差し止められているとして新措置の取り止めを要請し、14日に、タスクフォースが取り止めを発表し、検査能力が低下したことに言及しつつ国民全員にコロナ対策を実施呼びかけた。

・大統領直属コロナ・タスクフォースの人事異動(15日政府公式フェイスブック)

15日、政府は新しいタスクフォースの構成員を発表した。

ア チボンダ保健大臣(共同議長)

イ プーカ医科大学医師

ウ ムルス財務大臣

エ ニャンロンジェ教育大臣

オ カンドド労働大臣

カ ムバロ法務大臣

キ カゾコ情報大臣

ク サワレ公共政策委員会議長

ケ チロンボ・キリスト教保健協会(CHAM)事務局長

コ ムダンボ公務員労働組合長

サ ナンクムワ野党側院内総務

シ ジェレ・第五代ンゴニ族大首長

・その他コロナに係る動き

(1) 大統領による祈りの主催(15日政府公式フェイスブック)

15日、コロナの影響につき、チャクウェラ大統領(注:キリスト教牧師)は、宗教的市民に対し、16日から18日までの3日間の断食と祈りに参加するよう呼びかけた。

・要人のコロナ感染者

(1) チリマ副大統領夫妻の検査(21日 BBC オンラインニュース)

副大統領秘書がコロナにより死亡したことを受け、副大統領夫妻は検査を受け、陰性だった。

(2) 国会議員1名の感染(6日政府公式フェイスブック)

6日、国会は、国会議員1名がコロナ陽性と判断され、ブランタイアのエリザベス女王中央病院にて治療を受けていると発表。

(3) 国会議員1名の死亡(16日公式フェイスブック, タイムズ Twitter)

16日、国会は回章で、ムワンダ・カロンガ中部代表議員(MCP 所属)の死亡について国会関係者に周知した。尚、右文書において死亡原因は明記されていないが、報道によれば同議員は自身のフェイスブックにおいて直前にコロナ陽性と判断された旨を投稿していたとのこと。

(4) ンカタベイ県伝統首長の死亡(22日政府公式フェイスブック)

(5) UTM東部地域代表の死亡(23日ニヤサタイムズ・オンライン)

【経済】

・少ない運輸予算に対する JICA の懸念

JICA は、運輸部門のポジションペーパーにおいて、マラウイ政府が運輸部門への財政を増やさない限り、右部門のインフラ開発実施は脅威に直面すると述べた。JICA によると、政府は例年4100万米ドルを運輸部門、特に道路関連部門に割り当てており、このままでは、2018年にローンチした20年規模の国家運輸基礎計画の実施が困難になる。JICA は、マラウイ政府は新規インフラ事業に興味を示すものの、既存インフラのメンテナンスにはごく限られた資源しか割り当てないと述べた。2017年から2037年の20年間で95億米ドルの支出が必要と予想される国家運輸基礎計画は、鉄道部門に230億米ドルの投資を、水開発部門に19万米ドルの投資をしている。(23日ネーション・オンライン記事)

・葉たばこの売り上げの減少

AHL グループの最新の数値によると、国内の葉たばこの売り上げは、市場14週目の終わりまでに1億4090万米ドルとなり、昨年同時期の1億7060万米ドルと比較して、減少した。右期間において、1キロあたり1.52米ドルの平均価格で、各種葉たばこ合計9270万キログラムを取引した。昨年同時期では、1キロあたり1.49米ドルの平均価格で、各種葉たばこ合計1億1460万キログラムを取引していた。サダラたばこ委員会 CEO は、右減少は、コロナの下、規制当局が関係者と協議し取引に厳格な制限を課すように強いられたためだと述べた。(29日タイムズ紙)

【開発協力】

・我が国による3億円規模の医療機材調達支援

日本政府は、コロナ対策のため、マラウイに3億円(20億クワチャ)規模の医療機材調達支援を行うことを発表した。ICU ベッド、超音波スキャナー、ベッドサイドモニター及びその他ハイテク医療機器が提供される。岩切大使は、右支援は、マラウイに限らず他地域へのコロナ拡大を防ぐため、マラウイ人だけではなく、世界に有益であると述べた。ムルス財務大臣は、感染者が増加している

今、右支援は適切なタイミングであると述べた。(23日タイムズ紙)

・ドイツによる2810万ユーロ規模の改革アジェンダ及びコロナ対策支援

ドイツは、昨年10月29日にマラウイ政府との支援合意に基づき、医療、社会保障、民間部門開発のために2810万ユーロ規模の支援を行っている。右支援は、1億8600万ユーロ規模の現在進行中プログラムの一部である。また、医療サービス共同基金を通じて、医療部門戦略計画の枠組みの下、医療サービス提供を改善するために、最大310万ユーロ(26億クワチャ)規模の支援が合意され、若者及び地方の人口に焦点を当てた性と生殖に関する権利を改善するため、別途1300万ユーロ(111億クワチャ)規模の支援が合意された。(27日ネーション・オンライン記事)

・習近平中国国家主席夫人からチャクウェラ大統領夫人へのコロナ対策物資の寄付

28日、習近平国家主席夫人からのコロナ関連物資(温度計及びマスク)の寄付について、引渡し式がカムズ大統領官邸にて開催され、チャクウェラ大統領夫人、チポンダ保健大臣、中国大使等が出席した。(28日政府公式フェイスブック)

・AfDB による4507万米ドル規模のコロナ対策及び経済支援

AfDB は、マラウイのコロナとの戦い及び経済成長の刺激のため、4507万米ドルの譲与的条件貸し付け及び無償資金援助の形で支援を行うと発表した。AfDB は、国境閉鎖は貿易やサプライチェーンを妨げ、中小企業に最悪の打撃を与え、食糧供給制度に圧力をかけていると述べた。(27日タイムズ紙11面)